

【概要書】「イタセンパラの勉強会」について

「イタセンパラ」は、日本固有のコイ科の淡水魚で、二枚貝に卵を産むタナゴの仲間です。本種は国の天然記念物、また国内希少野生動植物種に指定されている希少種です。

イタセンパラは現在、淀川、木曽川、富山平野の3地域のごく限られた場所にしか生息しておらず、生息環境の変化や、密漁など的人為的な影響もあって個体数が減少傾向にあり、絶滅が危惧されています。

「木曽川水系イタセンパラ保護協議会」（地域の学識経験者や行政機関等で構成、概要下記）では、イタセンパラの生態などを地域の方々などに御理解いただき、連携した取組を進めていくことを目的として、毎年「イタセンパラの勉強会」を開催しております。

第12回となる今年の勉強会では、コロナ禍の昨今の状況に鑑み、WEBによる開催を企画いたしました。

環境省から希少種保全の取組、国土交通省から木曽川での生息地の環境整備と環境教育活動について説明します。また、世界淡水魚園水族館の池谷幸樹氏からイタセンパラの生息域外保全の取組、富山県氷見市教育委員会の西尾正輝氏から氷見市での取り組みについてお話しします。さらに木曽川流域の学校による取り組みや飼育展示について紹介する予定です。当日は、チャット機能を使っての意見交流も行う予定です。

木曽川の宝である「イタセンパラ」について勉強できる貴重な機会ですので、ぜひ御参加ください。

なお、参加にあたっては事前の申込みが必要です。

参加者募集チラシ裏面の参加申込書（本資料の最終ページ掲載）により、応募してください。

< 木曽川水系イタセンパラ保護協議会（H22.3.9 設立、H30.3.5 改正）の概要 >

木曽川水系のイタセンパラ保護のため、学識経験者、関係機関及び地域住民が協働して、下記の活動を行っておりまます。

【活動内容】

- 1) イタセンパラの密漁対策
- 2) 希少種に関する啓発活動
- 3) 希少種に関する環境教育活動
- 4) イタセンパラの生息環境改善のための対策とそれに関する調査・計画の立案
- 5) イタセンパラの生息域外保全に関すること
- 6) イタセンパラの野生復帰に関すること
- 7) その他関連する事項

【構成機関】

学識経験者：池谷 幸樹（世界淡水魚園水族館）、伊藤 健吾（岐阜大学）、上原 一彦（大阪府立環境農林水産総合研究所）、北村 淳一（三重県総合博物館）、久保 穎子（一宮市 尾西歴史民俗資料館）、永山 滋也

（岐阜大学 地域環境変動適応研究センター）、森 誠一（岐阜協立大学 地域創生研究所）、森 照貴（土木研究所 自然共生研究センター）、山崎 裕治（富山大学）

関係機関：文化財第二課、愛知県（自然環境課、文化芸術課 文化財室）、愛知県警察本部 生活経済課、岐阜県（環境企画課、文化伝承課、水産研究所）、岐阜県警察本部生活環境課、一宮市博物館、羽島市生涯学習課、碧南市碧南海浜水族館、名古屋市東山動物園、世界淡水魚園水族館

事務局：環境省中部地方環境事務所野生生物課、国土交通省中部地方整備局河川部、国土交通省中部地方整備局木曽川上流河川事務所